

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援を行うにあたり(寝たきり4名、車イス11名、単独歩行不安定4名、安定歩行者6名(内スタッフの付き添いがないと危険者3名)9月末現在) この状態で日常的な外出支援を行う困難さ。	できるだけ気候にいい日は外に出て太陽を浴びる。	ホームの庭やお地蔵様へのお参りからまず初めて、出不精の方も外の空気になれていくように。月1回のレクも外出できる計画を考える。	3ヶ月
2	10	本人の状態があまり理解できていない部分での要望がたまにある。	家族様に利用者自身の状態を把握してもらい、ホームで出きる事の上限を相談して行く	時期をみて、家族との懇談会を行いたい。(本人のADL、精神的な面、総合的な状態、今後の予想)	6ヶ月
3	35	消防署関係を加えての訓練ができていない。利用者が参加できない。	基本的に利用者抜きで訓練などを行う。	マニュアルに基づいて、まずミーティングなどで非常時の対応を再度確認していく。	6ヶ月
4	4	運営推進委員会の開催がなかなかできない。なかなか地域の方や家族様の都合が合わない。	まず、開催すること。	まめに連絡を取ってみる。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。